

新しい吟友と共に「今が人生だ」

会長 鈴木 龍成

冒頭から私事で恐縮ですが、過日か
つての会社勤務時代の仲間と一夕を共
にする機会があり、その席上で、当年
八十歳の女性と連吟をいたしました
が、他流統所属のその女性の元氣な吟
声に圧倒されました。まさに、吟詠で
鍛えた心身から発せられた逞しさを痛
感した次第です。
「春の吟行会」が七十余名の会員参加
で宗家をお迎えして賑々しく実施され

岳精流日本吟院

ちよあ

第 3 4 号

平成 2 1 年 5 月

千 代 田 岳 精 会 弘 報

平成二十一年度岳精流指標

今が人生だ

た後、先般、四月廿六日には廿一年度
の昇任審査会が無事終了いたしました。
今年は、受審者百廿二名という、昨年
を大幅に上回る規模の審査会で、審査
員としてご来会頂いた三河岳精会の深
浦精正会長、岡田精峰副会長両先生に
は大変ご苦勞をいただき、また、ご懇
切なるご指導を賜り、篤く感謝申し上
げる次第です。
「審査会」に先立ち、「拡大教場長・
副教場長研修会」を開催し、両先生か
ら三河岳精会の活動振りにつき、ご披
露を頂きましたが、これまた示唆に富
み、学ぶことの多い内容であったと思
います。ある参加者の印象は一言「野
生味を感じた」とのこと、成程と思い
ます。折に触れて、研修会参加者を中
心として、わが千代田でいかにあるべ
きか、得たものを生かしていきたいと
思っています。
平素の教場活動では、常に新しい吟
題に取り組みながら吟の心を学び、吟
技を磨きそして漢詩等の理解、鑑賞に
努めておられると思います。教場の
活気ある雰囲気づくりにとって、継続
的に新しい仲間を迎えての「研鑽の場
づくり」はとても大切なことであると思
います。教場、会全体が活気づく為
に会員増加を目指そうとしているのもそ
ういう意味合いからであることをご理解
ください。
新しい「研鑽の場」として、新しい
地域に「拠点」を造ろうという目的の

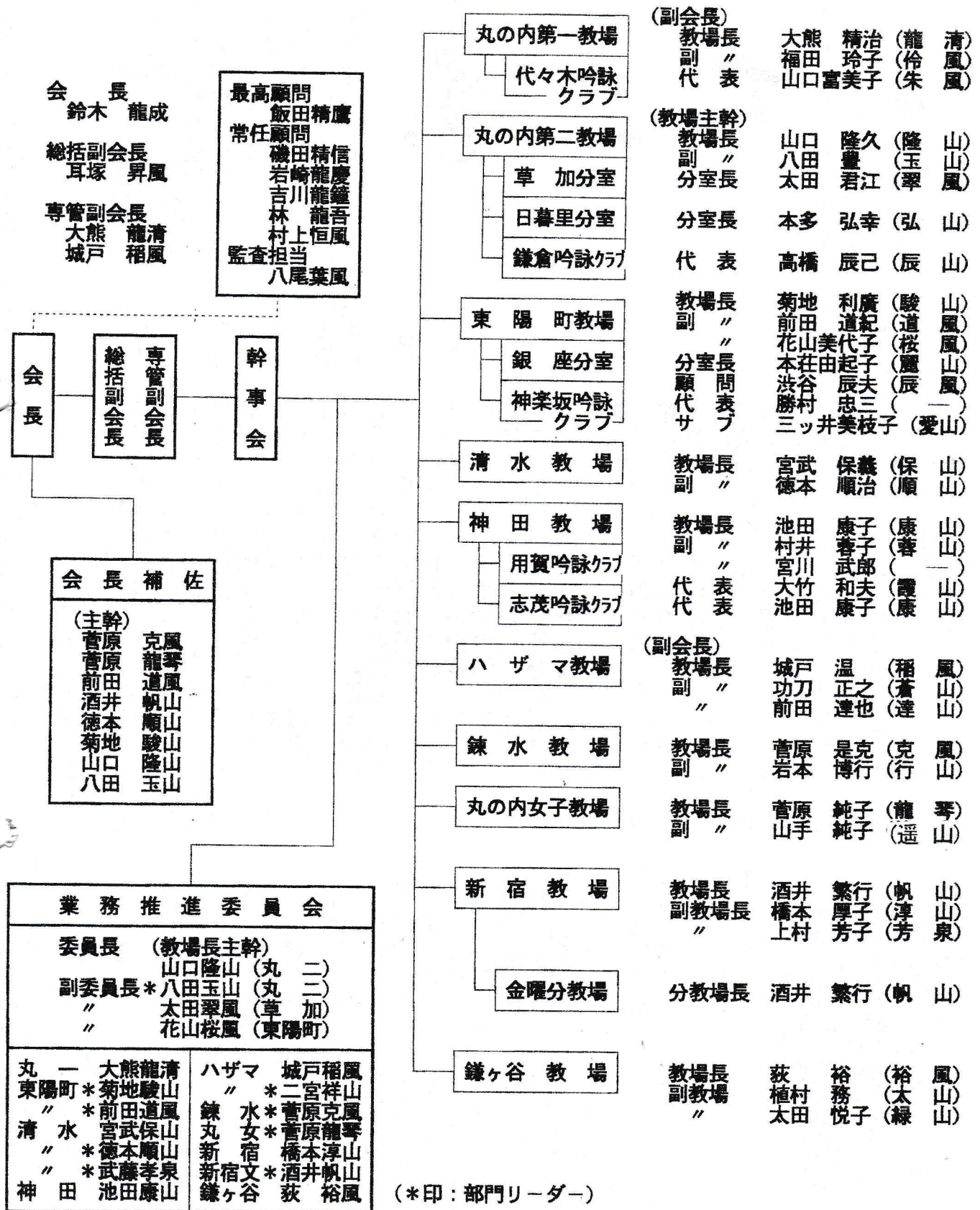
もと、当会では、今年「五拠点」新設
を目指していることはご承知のとおり
です。幸い、四月に「鎌倉詩歌吟詠ク
ラブ」が発足し、七名の吟友が活動を
開始しました。お目出とうございます。
これに続く新しい拠点の誕生が期待さ
れます。

廿四年前・昭和六〇年の四月、千代
田岳精会の前身「千代田教場」がスタ
ートし、六一年六月、第一回「温習会」
を廿九名の参加者で開催、六二年二月、
岳精流日本吟院加入等々、数々のエポ
ックを刻みながら今日に至っている会
の歴史をみると、積極的な新しい教
場（拠点）作りが行なわれてきたこと
が、今日の活性化をもたらしているこ
とは申すまでもありません。「温習会」
にしろ、種々の研修会にしろ、多くの
吟友と参加するスケールの大きさはお
互いの励みになります。吟友拡大への
ご理解と協力をお願いします。吟友次
第です。
既に知らせました、当会会員による
地域社会での地道な吟活動も依然とし
て行なわれており、また新たな社会教
育面での活動も始まっています。幅広
く、活発な私どもの吟活動を通じて、
それこそ「今が人生だ」を謳歌しまし
よう。
向暑の折柄、健康にはくれぐれもご
留意ください。



星野久山
(清水)

平成21年度 千代田岳精会教場組織図



平成21年度 千代田岳精会部門組織図

会 長 鈴木 龍成
 総括副会長 耳塚 昇風
 専管副会長 大熊 龍清
 (許証 弘報 総務 経理)
 " 城戸 稲風
 (研修 事業 吟楽 婦人)

最高顧問 飯田 精鷹
 常任顧問 磯田 精信
 岩崎 龍慶
 吉川 龍鐘
 林 龍吾
 村上 恒風
 監査担当 八尾 葉風

会 長
 総括副会長
 専管副会長
 幹事会

会 長 補 佐
 (主幹)
 菅原 克風
 菅原 龍琴
 前田 道風
 酒井 帆山
 徳本 順山
 菊地 駿山
 山口 隆山
 八田 玉山

業 務 推 進 委 員 会			
委員長 (教場長主幹)			
山口隆山 (丸 二)			
副委員長*八田玉山 (丸 二)			
" 太田翠風 (草 加)			
" 花山桜風 (東陽町)			
丸 一	大熊龍清	ハザマ	城戸稲風
東陽町	*菊地駿山	ハザマ	*二宮祥山
"	*前田道風	鎌 水	*菅原克風
清 水	宮武保山	丸 女	*菅原龍琴
"	*徳本順山	新宿	橋本淳山
"	*武藤孝泉	新宿分	*酒井帆山
神 田	池田康山	鎌ヶ谷	荻 裕風

*印 : 部門リーダー

研 修 部 門

リーダー 前田道風 (東陽町)
 サ ブ 前田達山 (ハザマ)
 " 萩原晴山 (ハザマ)
 " 本多凜泉 (丸 女)
 補佐 森山俊雄 (丸 女)

詩歌研修 担当

リーダー 渋谷辰風 (銀座分)
 サ ブ 大槻鉾風 (清 水)
 " 宮澤修山 (ハザマ)

演奏研修 担当

リーダー 荻 裕風 (鎌ヶ谷)
 サ ブ 前田達山 (ハザマ)
 " 山崎洋泉 (神 田)
 " 西山定泉 (清 水)

剣詩舞 研修担当

顧 問 金子千峰 (千峰流宗家)
 リーダー 松尾洋輔 (ハザマ)
 サ ブ 樋沢桃山 (鎌 水)
 " 三ッ井愛山 (神楽坂)

許 証 部 門

リーダー 徳本順山 (清 水)
 サ ブ 青木隆山 (東陽町)
 " 西山定泉 (清 水)

事 業 部 門

リーダー 菅原克風 (鎌 水)
 サ ブ 大飼堯泉 (丸 二)
 " 石田勝美 (ハザマ)

吟 楽 部 門

リーダー 二宮祥山 (ハザマ)
 サ ブ 花山桜風 (東陽町)
 " 加藤有山 (新 宿)

弘 報 部 門

リーダー 八田玉山 (丸 二)
 サ ブ 星野久山 (清 水)
 " 植村太山 (鎌ヶ谷)
 " 松田好泉 (清 水)

婦 人 部 門

リーダー 菅原龍琴 (丸 女)
 サ ブ 太田翠風 (草 加)
 " 山手遥山 (丸 女)

総 務 部 門

リーダー 酒井帆山 (新 宿)
 サ ブ 功刀蒼山 (ハザマ)
 " 田中香風 (丸 二)
 " 出水田好徳 (新 宿)

経 理 部 門

総括リーダー 菊地駿山 (東陽町)
 会計リーダー 武藤孝泉 (清 水)
 サ ブ 三ッ井愛山 (東陽町 神楽坂)
 " 加藤有山 (新 宿)

監 査 担 当

監査役 八尾葉風 (東陽町)

若葉と競いすくすくと伸びよう



新宿 手塚 勝泉

新宿教場に入会して、早や四年目を迎えます。先輩の加藤有山さんに誘われていた頃は詩吟に興味は有りませんでした。が、一度だけ見学に来てみたらどの事で教室に伺いました。まず皆様和氣藹々と勉強しているし、先生の熱心な指導にも感心し、又昼食会がまた楽しく入会する事に決め、もう初伝の雅号を頂く事になるとは月日の経つのがとても早く感じます。趣味嗜好があつて皆様の仲間に入れて頂き老後の楽しみが出来ました。

これから、どうか宜しくお願い致します。

漢詩の知識が少ないのに、良いのかと忸
怩たる思いです。しかし、これから頑
張れという励みの言葉と思い、先生方
並びに諸先輩のご指導を戴き吟道の高
みに向かって一歩ずつ歩んで行きたい
と思います。

初伝審査と雅号を頂いて

入会以来三年、初伝の昇伝審査が、緑の樹々に囲まれた東郷神社境内にある水交社で行なわれました。三河岳精会長深浦精正先生から審査に当たって「皆さんが各教場で日頃どのような精励されてきているかは知ることとは出来ませんが、あまり固くならず従来通り吟じられるように」とのお言葉があり審査に移りました。順番が来るまで他の受審者の吟に対する講評とご指導を聞き、自分の吟でも気をつけなければ

初伝審査を受けて
丸の内女子 大倉 明泉

一回目と二回目の昇伝審査は宮崎県会館で「三樹の酒亭に遊ぶ」「感有り」

のですが、力んで高い声を出すときに目をつぶる癖が出て、指摘されました。

三回目は東郷記念館で「宇文六を送る」を目をつぶることなく吟じることがで

前年に庭木の向こうの建物に届く位
きまりました。

出水田鶴泉
北尾北泉
町井澄泉

それだけを考えて腹から声を出すことが出来たと思います。
雅号を戴くレベルに達しているのか

雅号「輝泉」を頂き、一層の精進を
いたす所存ですので、皆様方のご指導
ご鞭撻をお願い申し上げます。

初雅号雑感

新宿 岡部 禎泉

手術後のリハビリにと軽い気持ちで始めた吟でしたが、活気溢れる新興教場で、橋本・酒井両先生の熱心な指導を受ける中、一年半でコンクール入賞のハプニングが起きました。これはかなりの重荷となり、あまりみつともない吟も出来ないとい、それなりの努力を強いられました。

その後、二度に亙る直腸ガンの大手術で大幅に体力ダウン。行動範囲が狭まった分、吟との時間が濃密度を増しました。

さて初雅号の感想。特には有りませんが、一寸恰好がついたかなという処で、残軀天の許す処は山かはた風か。「老楽は唯詩吟を行なうに在り」とまで枯れ切つてはいませんが、吟は好きです。教場はアフターも含めて楽しいので、雅号、段位に拘らず、楽しく続けたいと思っています。



飯田最高顧問、磯田常任顧問
総本部總傳師範に

平成廿一年一月一日付で飯田最高顧問（初代会長）及び磯田常任顧問（総本部副幹事長）両先生が流統の最高伝位總傳師範を認許され、三月十五日の全国研修会席上で宗家から受彰されました。千代田としても初めての事、總傳師範が二人というのは全国で千代田だけです。お目出とうございます。

お礼のことば

最高顧問 飯田 精鷹

今春、岳精流日本吟院 總傳師範の認許を頂戴するに当たり、千代田の皆様から多大の祝意を頂き、会員お一人一人からのお協力、ご支援のおかげと心からお礼申し上げます。これからも常に明日を夢み続けてまいります。有難うございました。

總傳師範を頂いて

常任顧問 磯田 精信

この度、流統の最高傳位を頂きこれ偏に今迄導いて下さいました先輩各位のご厚情と恒に温かくご友誼を頂いた吟友のお陰と感謝申し上げます。

◎吟縁、師、吟友、感謝！

馬上青年過 時平白髪多

殘軀天所許 不棄復如何

墨痕鮮やかな色紙を当時（昭和六十年）飯田先生から頂いた。これが入会の動機となり岳精流統の吟縁を得、門下生一号となる。

茲後、千代田の歩みを師の許吟道一筋（当時、吟キチと言われた）に励み現在に至る。

◎諸先生との出会い

池袋・我孫子・川口の三つのカルチャー教室では直接家元岳精先生、宗家精真先生、渡精華先生、岡村精榮先生のご指導を戴いた。現在健康で毎日吟友と楽しく過ごすことの出来るのも、この吟縁のお陰と感謝！感謝！の日々である。

◎向後の歩み

「今が人生だ」 家元の今年の指標が現在の心境です。一日々々を大切に今迄受けたご恩に報いる日でありたいと思います。

千代田は人材豊富。後継者が立派に育っております。岳精流統も現在「組織の輪活き活き運動」を展開中です。千代田が運動の推進力となり、楽しい教場となるよう頑張りましょう。

◎吟楽！ 吟楽！ 吟友よ有難う

拠点作り本年第一号

鎌倉詩歌吟詠クラブ開設

古都鎌倉に教場を、と会場を探していた丸の内第二教場でJR大船駅から徒歩三分という至便の場所が確保でき、高橋辰山氏を代表として四月十日開設されました。

当日は、鈴木龍成会長はじめ磯田精信常任顧問、東陽町、清水教場からも吟友が「いざ、鎌倉」とお祝いに馳せ参じて下さり、地元在住の新しい方が復会を含め五名出席、総勢十八名と賑々しくスタートした。居住地と近い教場と言うことが大きな利点であり、神奈川県中西部にお住まいの方には通いやすいと、他教場から紹介の話もあり、今後が楽しみです。

千代田は十教場、四分室、五拠点と十九の教室体制となりました。

教室 鎌倉市大船一〇一六
鎌倉市消防団第九分団
2F集会所
開催日 毎月第二・三金曜日
十三時～十五時

吟剣詩舞道吟詠コンクール 予選人賞者続々

日頃の研鑽の成果を披露する吟詠コンクールが三月十五日港区、廿一日品川区で開催され、港区に四三名、品川区に三名が出場した。特記されるのは港区で幼年の部に小林俊晴君（東陽町）が出場した事。幼少年育成は千代田では未知の分野であったが何か明るく、夢が出来たようだ。

今回の入賞者は次の方々です。お目出とうございます。上位入賞者十二名は五月の東京都大会へ出場されます。ご健吟を期待しております。

◎港区 幼年の部

優勝 小林俊晴（東陽町）
二位 伊藤浩司（東陽町）
三位 中内博司（東陽町）
四位 松田好泉（東陽町）
五位 松山桜風（東陽町）
六位 花山洋輔（東陽町）
七位 松尾稲風（東陽町）
八位 城戸順風（東陽町）
九位 徳本順風（東陽町）
十位 渋谷辰風（東陽町）
十一位 永岡詠山（東陽町）
十二位 萩原晴山（東陽町）
十三位 功刀蒼山（東陽町）
十四位 八田玉山（東陽町）
十五位 小林明泉（東陽町）

一般三部

二位 入賞
三位 入賞
四位 入賞
五位 入賞
六位 入賞
七位 入賞
八位 入賞
九位 入賞
十位 入賞
十一位 入賞
十二位 入賞
十三位 入賞
十四位 入賞
十五位 入賞

◎品川区 一般二部

六位 入賞
七位 入賞
八位 入賞
九位 入賞
十位 入賞
十一位 入賞
十二位 入賞
十三位 入賞
十四位 入賞
十五位 入賞

一般三部 前年

四位 入賞
五位 入賞
六位 入賞
七位 入賞
八位 入賞
九位 入賞
十位 入賞
十一位 入賞
十二位 入賞
十三位 入賞
十四位 入賞
十五位 入賞

六位 入賞 酒井帆山（新宿）
五位 入賞 小佐々隆（新宿）
四位 入賞 岡部禎泉（新宿）
三位 入賞 東陽町 小林 としはる

おうえんありがとうございます
しぎんでゆうしうできて、とてもうれしいです。
うしぎんは、まいにち三かいれんしゅうしていただきます。れんしゅうはきびしいけど、うまくなるとすごくて、いいです。うけんめいのしいところは、いっすいところができるようになって、できなす。一ばんむずかしいところは、音のばすところとです。
これからは、とうきょうとで、ぜったいにゆうしうします。がくせいりゅうのみなさんにまけないように、まいにちれんしゅうしてがんばります。おうえんをありがとうございます。

品川区吟詠コンクール初入賞
神田 山崎 洋泉

この度の品川区大会で「舟大垣を発し桑名に赴く」を吟じ、思いがけない優秀賞にとても驚き、また嬉しく思っております。
今迄教場においては、教場長をはじめ諸先輩方が次々と入賞されていくなか、私自身には縁のないものと思っております。ただコンクールに向いていくことに、今年も色々な方に背中を押していただきました。

だいたお陰により、何とか優秀賞の最後の方に名前を連ならせて頂き、とても感謝しております。
今後は、吟と皆様方との繋がりを大切にして、吟生活を続けて行きたいと思っております。
宜しくご指導をお願いいたします。

詩の心を求めて
清水 松田 好泉

この度、港区吟剣詩舞道連盟独吟コンクールに挑戦しましたところ、思いもなかつた入賞の栄誉を頂き大変感謝しております。思えば五年前、教場で生まれて初めてか細い声で吟をつぶやいた時、指導して下さいました磯田先生から「鶯の初鳴きですね。続けていれば楽しくなりますよ」と励まされ、心強く感じたことを思い出します。不勉強ながら少しずつ吟らしい声が出せるような気になって来ました。
今回の栄えは、会の先生方・教場の諸先輩のご指導の賜物と思っております。今後、少しでも吟の心を得られようように歩んで行きたいと思っております。



星野久泉（清水）

東京都連コンクール出吟の弁
新宿教場長 酒井 帆山

今年から、三部への出吟の年齢となりまして。二部の時との大きな違いは、二部の時は三本でやっていましたが、諸先輩からの厳しい指導もこれがあり心ならずも、謙虚にこれを受入れることと致しました。

自分が良いと思う吟と、他人が聞いて心持ち良い吟とは全く違うこと、大切なのは一人が聞いて気持ち良いことが一番であることを受入れる気持ちになりつつあることです。

勿論年齢による声の衰えもあり、練習は二本、三本でやりながら、その声の質を一本で表現出来るようにという点に的を絞っています。

この三月から事情があつて教場長を引受けることになりましたが、教場の皆さんに、如何に正しい吟を身に付けてもらうかに、かなり気を付けています。この事が、私の吟の質の向上に大いに役立っているのを認識しています。自己流に落入らないで客観的に吟力を向上するための勉強として、川口カルチャーで指導を受けてもおります。今回の区連での入賞はまたまのラッキーといった気持ちです。日々の地道な練習、年々の練習の積み重ねで誰もその結果を身につけられると考えています。

憧れていた詩吟
新宿 小佐々 隆

新宿教場にお世話になってこの四月で丁度三年になります。大学同期の酒

井帆山新宿教場長との誼です。大学時代から詩吟には憧れがありましたが、いつしか忘れていたところ、たことが始まりです。何かおぼろげとした思いで新宿教場を訪ね、最初に先生や先輩方の吟詠を耳にしてビックリしました。テープなどではとても味わえない、まさに本格的な吟詠に触れて嬉しい感触でした。早速入会しました。

先生の範吟を聞くことから始まりまして。録音した一つの吟詠を歩行時などに三百回以上聞いたものがあります。が、学ぶは先ず聴いて真似ることからでしょう。これは今も続けています。吟詠が多様で、多彩でこれも魅力です。先題が品川区吟詠コンクールで入賞に感謝して頂きましたが、先生方のご指導を感じました。今後の色々な課題も必要です。

必要です。今も指導して頂いていることは、発声の支点、正確な母音を出すことです。道は遠いですが、これからは吟の味になることを目標として、吟を味わい楽しみたいと思っています。

千代田岳精会という良き環境の中で、とても愉快な良き吟友に恵まれて励めます。ことを誠に有難く存じております。

吟詠コンクール初入賞
ハザマ 松尾 洋輔

度胸試しのつもりで出場した港区連吟詠コンクールで、思いがけず入賞するとは自分自身全くの驚きでした。入

門二年目の私が入賞できたのは、偏に鈴木会長、城戸教場長、諸先輩の情熱的なご指導の賜物と感謝しております。入門した年は発声、アクセント、節調等全てが未熟で、こちなく、随分悩ましました。声は壁にぶつかるつもりで出すこと、息は大きく吸って全部吐き出すこと、吟譜の節回しの仕方、母音への切替え等のご指導は私の永遠の課題と位置づけてこれからは吟力の向上に着実に努めていく所存です。

は、一つの吟詠を何回も練習し、その都度諸先生からご指摘を受け多くの欠点を直され、またその過程で吟の奥深さに気付かされたことです。入門する前は吟を退屈なものだと敬遠していましたが、最近には剣舞の練習の時でも舞いよりも吟声に聞き惚れたりするようになりました。吟を学べばまた舞いも楽しく踊れるものだと思えました。

東京都吟詠大会へ！
丸の内女子 森山 俊雄

最後に、草加分室でお世話になっております岩崎先生には当日にも直前のご指導を頂き、その効果により平常心を保つことができた良い結果を招くことが出来たことをお礼申し上げます。

都内廿九連のうち、私は品川区連で行われた予選に出場し、運良く第十位に選出させて頂きました。初めての区連コンクール参加で、しかも一番最後の出番という事で、途中で幾度も緊張感が途切れ、果たしてこれで普段通り吟詠が出来るか不安でした。

が、昨年の温習会無伝の部で準優勝を果たせたので、これに恥じないよう、と言ふ気持ちで李白作「秋浦の歌」を吟じました。吟じ終えた瞬間張りつめていた気持ちが一瞬にして安堵に変わっていき様は何とも言えないものでした。

何れにしても都大会進出という機会を得ることが出来ましたのも、教場長であり、姉でもあります菅原龍琴先生の下で、厳しい吟指導のお陰であると同時に、大会やコンクール直前には鈴木会長、磯田精信先生が私の吟の欠点、詩文の読みが甘い、母音を飲み込んである等の指摘をされ、より良い吟が詠じられるようご指導して下さいました。物だと心より感謝しております。吟を始め一年七か月でこのような実績を得たと言うことは、今後大きな励みになります。これから研修告知版のタイトルにあるように「吟ずるは楽し！」「力つけばより楽し！」「新しき吟友なお楽し！」で切磋琢磨していきたいと思っております。

◎教場長人事(三月一日付)

新宿 教場長 酒井 帆山
副教場長 橋本 淳山
橋本教場長の体調による交替
教場長就任挨拶
新宿教場長 酒井 帆山

この三月から、橋本前教場長の声帯トラブルのため、分教場と併せて教場長に就任しました。新宿は新しい会員の集団であります、充足以来橋本教場長の方針は男性、

女性同数であることを目標としてやっております。この方針は今後とも大切なポイントとして引継がれていきます。常に明るく、楽しい教場であることを、各自が自由に教場外では会話すること、この点を今後も新宿全員の意識として皆で力を合わせてやっていくつもりです。宜しくお願いします。

温習会三グループで開催

会員数二〇〇名を越え、会場、後の懇親会場の手当が難しくなった事、また、全員が独吟出来る温習会の原点に戻ろうという声もあり、今年は三グループに分割して開催されます。詳細は、各グループ毎に企画、検討が進められています。

Aグループ 丸の内第一、丸の内第二、清水
日時 十二月三日(木) 十三時
会場 中野小劇場
Bグループ 東陽町、丸の内女子、新宿、
日時 十月廿日(火) 十三時
会場 杉並公会堂
Cグループ 神田、ハザマ、鎌水、鎌ヶ谷
日時 十一月一日(日) 十時
会場 サンパール荒川

春の吟行会

青葉目に清々しい神宮の杜で

爽やかな風が肌に心地よい四月十一日、都心に位置し緑り溢れる神宮の杜で森林浴をと、吟楽部で企画され、七

十名を超える参加者であった。当日の集合は代々木の北参道大鳥居。定時には初めてご参加の宗家を迎え、緑の中を拝殿に向かう、この日は皇太后祭とのことで人出が多く、また華やかな結婚式も見られる中を参拝して、東郷神社へ、水交社は桜吹雪を眺めに浮かべ、ここも何組もの結婚式を眺めながら、潤沢な飲みものと料理、そして吟まわしであったが、教場合吟、グループ合吟、独吟と時間一杯の交歓であった。宗家には、最後までお付合頂き有難うございました。



平成廿二年度昇伝審査吟題

初伝

初夏即時

偶感

中伝

清平調詞(その二)

短歌

柔肌の鎌倉や

奥伝

辞世

山居雜詩

俳句

我と来てやせがえる

皆伝

零丁洋を過ぐ

不尽を詠める歌

(長歌のみ、短歌は吟じない)

王 安石
西郷 南洲

李 白
与謝野 晶子
同

吉田 松陰
小林 好間
同

文 天祥
山部 赤人

武蔵野の地で千代田岳精会デビュー
用賀吟詠クラブ 田中さだ子

二〇〇九年一月十四日(水)埼玉グランドホテル深谷2Fアイリスの間は、お客様七〇名の熱気に溢れ、千代田岳精会十四名は、鈴木会長指導のもと「偶成」を合吟大いに盛り上がり、成功裏に終了しました。

この度お招き頂いた「パイロットクラブ」のメンバーは、パイロットクラブの歴史を、米国の本部があり、八〇年以上の歴史を持つ国際的奉仕団です。日本では約六〇年前、当時のオピニオンリーダー市川房枝氏、藤田たき氏などが日本支部を創立し、現在全国五〇数か所に約一〇〇〇名の会員がそれぞれ地域の密着した活動を行なっています。す。む。さ。し。の。パイロットクラブは、深谷市を中心にして、十六年間で、各種奉仕団を展覧しているグループで、友人の役員から今年最初の月例会にいつもと違った行事を考えているのだけども、と相談を受け、私は現在自分が魅せられて、素晴らしさを夢中になつて説明した事から始まったのです。

この行事の成功の陰には、鈴木会長はじめ神田教場の林龍吾先生と池田教場の中心になり、演目や演技者の選定、時間の配分、シナリオの原案作成など、何回もの話し合い、電話やフックス連絡などを重ね、慎重にプランを練り上げました。神田教場全員のサポートを得ながら、ハザマ教場の東陽町教場、千峰流宗家などの全面的な協力、協力頂き、参加の十四名は忙しい時

間を縫って、担当パートの練習に力を入る。注ぎ当日を迎えました。神田教場会員の好意で、素敵なプログラム冊子を作成して、お客様に配布、吟詠の前には吟の説明や時代背景の解説なども行ないました。終了後、詩吟は初めてのお客様達から「とても楽しかった!」「詩吟を習ってみたい!」「プログラムが欲しい(予想より多くのお客様が来場された)ので!」などの声が会場のあちこちから聞かれました。

約四〇年間、外資系企業でキャリアを積んできた私は、毎日が英語漬けでしたが、二〇〇七年九月に初めて詩吟に接し、漢詩や短歌を吟じながら、言葉の美しさと意味の深きなどが私にはとても新鮮に感じられました。これから、魅せられてしまいたい。これから、コンダクターの練習もスタートしたり、詩吟に関する知識をより深め、多くの方々に詩吟の素晴らしさを広めてゆきたいと思っております。

渋谷区の高齢者講座
「ユーカリクラブ」で講師を担当

大熊龍清副会長が渋谷区からの要請を受け、四月から毎月一回講師を担当されていきます。詩吟を地元で広める効果と吟友増加を期待します。

副会長 大熊 龍清

渋谷区の福祉センター事業の詩吟講座のボランティア講師を四月から担当していただきます。そのきっかけは「代々木吟詠クラブ」の会員としてお誘いして、いる渋谷区の民生委員から、詩吟講座

で講師の一人が高齢で退かれるので、後任を依頼されたことにより、クラブ会員の増加と千代田岳精会のPRになればと、鈴木会長の了解を頂き、受け入れることにしました。

場所は、渋谷区役所近くの「渋谷区高齢者ケアセンター」で、当センターは福祉事業の区の要支援・要介護の方々の施設が置かれていて、他に、六五歳以上の区民を対象に様々なカルチャースタジオが行なわれています。その一つとして「ユーカリクラブ」と称し、詩吟、英会話、男の料理、陶芸、健康体操、太極拳、ヨガ等があります。区による詩吟の定期的講座は珍しいことですが、大声を出して吟ずるのでストレス発散に良いと当センター開設以来続いているとの事務局的説明でした。

1 詩吟の講師はチーフの方と交互に月一回ずつ一時間半、受講生は六か月毎に入替わり、この四月は十七名です。が継続者が大多数、殆どが女性、七十歳以上が多いのですが、皆生き生きと熱心に参加しております。

◇丸の内第二教場
「新会員紹介」

板橋 明治安田生命で廿六年間支部長を勤めた方、山口教場長に勧められ、全

く知らないうちに、山口教場長に勧められ、全の肺活量にびっくり、活き活き元気さ、と他には無い音楽の心地よさ、皆深さんの温かい心配りと元気が頂いて、皆続けてみようと、秋田県のご出身。

◇章加分室

太田 裕子さん（四月入会）

北千住在住です。太田翠風分室長さんからの廿年来？のお誘いで、遂に四月から入会させて頂きました。吟の上達の行く末は怪しいのですが皆様の交流の何と楽しい事か。岩崎先生の丁寧な指導のもと、頑張りたいたいと思っています。

◇鎌倉吟詠クラブ

高橋 恭子さん（五月入会）

夢窓疎石の開山、庭園で有名な瑞泉寺の近くに住まわれ、元は学校の先生をなさっていました。博学多才、健康のため大きな声を出すのが良いと聞き、それでは詩吟にと入会されました。俳句の趣味も持ちです。

高橋 一美さん（五月入会）

自称大音痴、カラオケも無縁で、もっぱら読書。高橋辰山代表の奥様で、夫唱婦随で恐る恐るでの入会ですが、まず、ご主人の吟を聴かれ見直されたことでしょうか。いずれ夫婦吟が拝聴できると楽しみです。

源 関 つね子さん（五月入会）

元明治生命本社診療所の看護婦さん。健診、診察でお馴染みの方も多いのではないのでしょうか。吟に少し興味があり、数年前から野沢柳山さんから誘われていました。教室が住まいに近い大船に開設された事をきっかけに吟友となつて頂きました。明るい女性です。共に吟楽が出来ると紹介者も楽しみにしています。

犬飼 嘉子さん（五月入会）

主人が詩吟を習っているのは知っていました。私が習おうとは思っていませんでした。それが今

度、近くの大船で教室を開くので健康のために習ってみてはどうかと薦められ、蚊の鳴くような声の私に、どれだけ出来るのか、とりあえず習うことに致しました。とにかく頑張りてみます。

◇東陽町教場

小林 俊晴君（一月入会）

小学校二年生、七歳です。キングレコード剣詩舞道大会最優秀賞のお父様と一緒に金子千峰先生の門下生。熱心なご両親の下、三歳の頃から剣詩舞と詩吟を意欲旺盛に稽古してききました。五月の都大会でも入賞しました。成長を暖かく見守りましょう。

瀬川 裕代さん（三月入会）

明治生命三十七年の勤めを終え、趣味にと茶道と詩吟を習い始めることに致し、知人の紹介で入会しました。ご指導される方や教場の皆さんも大変親切です。ので安堵しております。声出しも中々大変ですが、今後とも宜しくご指導の程お願い致します。

◇ハザマ教場

日吉 久子さん（十二月入会）

東陽町教場の金子澄山先生の紹介でハザマ教場に入会しました。詩吟のことはまだ何も分かりません。これから先、諸先生のご指導を仰ぎ、楽しく勉強したく思います。趣味は旅行、食歩き。

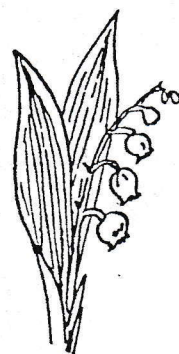
清水 新一郎氏（三月入会）

遊佐峰山先輩のお誘いにより入会しました。趣味はゴルフ、水彩画、特に映画好きです。第二の人生のチャレンジチェンジとして時代を越える生き方や風景が詩情豊かに吟ぜら

れる詩吟を選びました。どうぞ宜しくお願い致します。

池田 喜久造氏（四月入会）

かねてより詩吟をやってみたくて、思いはありましたが、趣味が多いうえに、吉さん、最近安来節の仲間、と勧められ、どこまで出来るか判りませんが入会致しました。宜しくお願いいたします。



編集後記

今年の昇伝審査が、無事終了した。審査員は流統一の会員を擁する三河岳精会の深浦精正会長、岡田精峰副会長のお二人に遠路ご来駕頂き、熱心なご指導を受けた。まずは両先生にお礼を申し上げたい。

審査に先だって午前中に拡大正副教場長研修会が実施され、三河岳精会の現況について伺い、三河で四五教場を展開する土の香りのする日々の活動を肌で感じた。企業教場よりスタートした千代田の会員は、戦後の復興と共に、強い団結力が特色だが、企業戦士の常として地元への帰属意識が薄い傾向がある。都心では、教室の確保が難しい事を考え、進めている居住地域近くの拠点作りを今後継続して取組んで行くことにする。併せて指導する師範の育成が欠かせない。（八田）